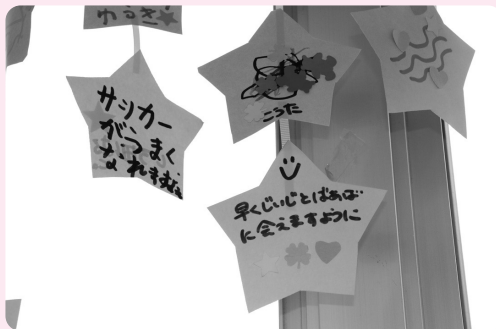


願いがかないますように

りぼーる・たなか（旧田中小）内の全天候型の遊び場「わんぱくキッズランド」では、みんなの願い事を夏の空に届けようと、来場者が願い事を書いた星形のカードを、職員が同施設内につるす「七夕イベント」を開催しました。



息子の峻元くん（2歳）とカードに願い事を書く浅井美沙子さん。「静かでゆったりできて良いですね」



ひらひらと揺れるカードが涼しげです



保育園の先生が小学校で研修

大同保育園で年長児を担任する遅沢俊先生は、7月12日、幼児期の教育・保育が小学校での教育に円滑につながることを目指して県が行う事業の一環で田代友愛小を訪れ、1年生の授業を参観したり、一緒に給食を食べたりして交流研修を行いました。

同園の卒園児と再会した遅沢先生は、「小学生になり、立派に過ごす子どもたちの姿が見られうれしく思う」と笑顔を見せ、「今回の研修を通して、小学校教育との円滑な接続が図れるよう学び工夫しながら取り組んでいきたい。国の保育指針にある『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』を意識し、子どもたちが自信と希望を持って小学校へと入学できるよう努めていきたい」と話しました。

今年10月には、同小学校1年担任の飛田美紗先生が同園の年長児クラスを訪問し、保育に参加するなどの研修を行います。



生活科の授業でタブレット端末を使いアサガオの観察カードを書く子どもを見守る遅沢先生



遅沢先生に給食当番表の説明をする子どもたち。「ぼくも給食当番やってみたい」

木のぬくもりを感じて 親子木工教室

7月10日、高原公民館で親子木工教室が開かれ、15組36人の親子が参加し、木製の万年カレンダーを制作しました。この事業は毎年、木の良さを普及するため、栃木県産の木を材料として使用しています。

クワガタやカブトムシ、プール、誕生日、お花等、カラフルで素敵な絵を自由に描きました。



世界でただ一つの、ぬくもりあるカレンダーができて、みんな大満足